

## 小林美恵 Mie Kobayashi

東京芸術大学附属高校を経て、同大学を主席で卒業。在学中に安宅賞、福島賞を受賞。1983年第52回日本音楽コンクール第2位。1984年海外派遣コンクール河合賞受賞。1988年シュポア国際ヴァイオリン・コンクール第2位、あわせてソナタ賞を受賞。1990年ロン＝ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、国内外で本格的な活動を開始する。

これまでに、NHK交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、アンサンブル金沢等の国内の主要オーケストラ、ハンガリー国立交響楽団、プラハ交響楽団のソリストとして、充実した演奏を高く評価される。また、静岡のAOI・レジデンス・クワルテットのメンバーをはじめ、数多くの共演者と室内楽の分野においても活動を広げ、軽井沢国際音楽祭に毎年出演する等音楽祭にも積極的に参加している。CDは、「プレイズ・クライスラー」、パスカル・ロジェとのデュオ「フォーレ」、ツイゴイネルワイゼンなどを収録した「ヴァイオリン名曲集」など多数リリース。

2010年、デビュー20周年をむかえ、紀尾井ホールで記念リサイタルを好演、同年ロン＝ティボー国際コンクールのヴァイオリン部門の審査員として招かれた。2012年には、パキスタンで行われたパキスタン国交樹立60年の記念演奏会に出演。その他、フランス、イギリス、タイ、中国、韓国、ニュージーランド等でも公演を行い、洗練され、しかもダイナミックに奏でられる重厚な演奏は、多くの聴衆を魅了した。

2015年～2016年、デビュー25周年記念リサイタル(全5回)を行った。

2018年から「華麗なるヴァイオリンの伝説」シリーズが始まる等、各地での演奏会が予定されている。現在、昭和音楽大学客員教授。



## 三船優子 Yuko Mifune

幼少の頃よりニューヨークに育ち、市村光子、ジェローム・ローエンター、帰国後は井口秋子、奥村洋子、安川加壽子の各氏に師事。桐朋学園大学在学中、第57回日本音楽コンクール第1位。同大学を首席卒業、演奏活動をスタートさせる。

90年、文化庁派遣研修員としてジュリアード音楽院に留学。

ピアノをマーティン・キャン、室内楽をサミュエル・サンダース両氏に師事。翌年にはロス・アンジェルズにおいてのベートーベンの協奏曲第4番にてアメリカデビューを果たし、L.A.TIMESで絶賛される。

同年フリーナ・アワーバック国際ピアノコンクール優勝後、カーネギーホール、リンカーンセンターでリサイタルが開催される。クラシックラジオ局WQXRではその演奏が全米放送された。92年、ジュリアード・ソリストオーディション優勝、卒業演奏会に出演。同年帰国後は、モスクワ交響楽団とモスクワ及び全国ツアー(96年)、サンクトペテルブルグ交響楽団と全国ツアー(97年)、韓国ソウル国際音楽祭(01年)、ニュージーランド・ツアー(07年)、パリ・ギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団と日本ツアー(13年)など、国内外で活躍。14年5月にはトルコ・アンカラにて大統領府交響楽団と協演し、国営放送で生中継される。

録音は「リスト・巡礼の年第2年イタリア」「メフィストワルツ」「ラプソディー・イン・ブルー」(ソニーミュージック)、「ウイングド」(キングレコード)、「バーバー・ピアノ作品集」「南米作品集」(オクタヴィアレコード)等多数リリース。特にバーバー、南米作品の録音は国内初の曲集で、貴重、かつ卓越の内容と絶賛される。発売されたアルバムはいずれもすべて「レコード芸術」誌にて「特選盤」に選出される。

教育活動にも積極的に関わり、国内のみならずシンガポールなど海外でもキッズ・コンサートやマスタークラスを度々開催。監修・演奏を務めたピアノ教則本「DVDですぐわかるかんたんピアノの弾き方」(成美堂出版)は初版1万部、以後増刷中で根強い人気を博す。

全180曲8枚組CD「きらきら☆ピアノ」(ビクターエンタテインメント)は高評を得て、リリース後は付随して「きらきら☆子供ワークショップ」やアウトリーチ活動にも力を注いでいる。

また95年より5年に亘りFM横浜のパーソナリティー、03年から6年に亘りNHK-BS2「週刊ブックレビュー」の司会を務めるなど演奏以外の分野でも活躍、視聴者から高い人気と支持を集めた。

近年はドラム・パーカッションの堀越彰と「最小にして最大のオーケストラ」と称するクラシックユニット・OBSESSIONで新境地を開き、新譜「OBSESSION」(オクタヴィアレコード)がリリースされレコード芸術にて「特選盤」に、またCDショップ大賞クラシック部門のベスト10にも選ばれる。

バロックから現代作品までレパートリーは広く、シャープなタッチからは、気品と色彩感にあふれた音色が放たれる。華のあるダイナミックな演奏で聴衆を魅了し続ける、日本を代表するピアニストのひとりである。京都市立芸術大学非常勤講師。



\* 当日券につきましては、席に余裕がある場合のみ販売致します。  
\* 未就学のお子様のお入場はご遠慮下さい。